

科目の年間授業計画(シラバス)

教科・科目等	外国語:英語コミュニケーション I (必履修)	単位数 4 単位	履修年次 1 年次
目標	英語の特徴や決まりへの理解を深め、その知識を聞くこと・読むこと・話すこと・書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面に応じて、適切に活用できる技能を身に付ける。また、英語で情報や考えを理解し、それらを適切に表現したり伝え合ったりする力を身に付けるとともに、主体的に英語でコミュニケーションをとる姿勢を身に付ける。		
使用教材	教科書「開隆堂 Amity English Communication I」 副教材「開隆堂 Amity English Communication I ワークブック」 副教材「ベネッセ 進路マップマナトレ英語基礎編」		
評価の観点・評価規準	(知識・技能)	(思考・判断・表現)	(主体的に学習に取り組む態度)
	英語の特徴や決まりへの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと・読むこと・話すこと・書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的に応じて適切に活用できる技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面に応じて、日常的な話題について、英語で情報や考えなどの概要や要点を的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができている。	英語の背景にある文化に対する理解を深め、主体的に英語を用いてコミュニケーションをとろうとしている。
評価方法	評価の観点・評価規準を踏まえ、ペーパーテスト、パフォーマンステスト(実技テスト)の他、日々の授業態度、言語活動の様子、課題などの提出状況、小テストなどを含め、総合的に評価する。		
学期	学習内容	学習のねらい	
1	【英語の決まりや仕組み】 ・be動詞の現在形と過去形 ・一般動詞の現在形と過去形 ・進行形 ・助動詞 【読むこと】 ・Lesson 1～ Lesson 3を中心に、異文化やコミュニケーションをテーマにした英文を読む。 【書くこと】 ・身近な単語を用いて、簡単な英文を書く。 【聞くこと・話すこと】 ・自己紹介をしたり、聞いたりする。	基礎・基本的な英語の決まりや仕組みの学習(中学校の復習)を行いながら、平易な英語で書かれた英文を読む力を身に付ける。また、身近な単語や表現を使って、英文を書く、自分自身を相手に紹介する、相手の自己紹介を理解するなどの力を身に付ける。	
2	【英語の決まりや仕組み】 ・不定詞、動名詞 ・比較 ・現在完了 【読むこと】 ・Lesson 4～ Lesson 7を中心に、食べ物や歴史や、教育をテーマにした英文を読む。 【書くこと】 ・身近な単語を用いて、簡単な英文を書く。 【聞くこと、話すこと】 ・過去のことについて聞いたり、話したりする。 ・外国の行事について聞いたり、話したりする。	基礎・基本的な英語の決まりや仕組みの学習(中学校の復習)を行いながら、平易な英語で書かれた英文を読む力や、身近な単語や表現を使って英文を書く力を身に付ける。また、過去の表現を使って過去の出来事について相手に話す力を身に付ける。加えて、外国の行事を学ぶことで、異文化の理解に努める。	
3	【英語の決まりや仕組み】 ・受動態 ・分詞 ・関係代名詞 【読むこと】 ・Lesson 8～ Lesson 10を中心に、世界で活躍する人物をテーマにした英文を読む。 【書くこと】 ・身近な単語を使って、簡単な英文を書く。 【聞くこと・話すこと】 ・予定について聞いたり、話したりする。	1・2学期の学習内容より複雑な英語の決まりや仕組みの学習を行いながら、長めでやや複雑な英文を読む力を身に付ける。また、身近な単語や表現を使って英文を書く力や、自分の予定について話す力、クラスメイトの予定について聞き取る力を身に付ける。	
学習上の留意点	①最初の授業で提示される「授業ルール」を守ること。 ②言語活動(聞く、読む、話す、書く)に意欲的に取り組むこと。 ③授業で配布されるプリントはファイルに綴じて、しっかりと管理すること。		

科目の年間授業計画(シラバス)

教科・科目等	外国語:英語コミュニケーションⅡ(全員履修)	単位数 2 単位	履修年次 2～3 年次
目標	英語の特徴や決まりへの理解を深め、その知識を聞くこと・読むこと・話すこと・書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面に応じて、適切に活用できる技能を身に付ける。また、英語で情報や考えを理解し、それらを適切に表現したり伝え合ったりする力を身に付けるとともに、主体的に英語でコミュニケーションをとる姿勢を身に付ける。		
使用教材	教科書「開隆堂 Amity English Communication Ⅱ」 副教材「開隆堂 Amity English Communication Ⅱ ワークブック」		
評価の観点・評価規準	(知識・技能)	(思考・判断・表現)	(主体的に学習に取り組む態度)
	英語の特徴や決まりへの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと・読むこと・話すこと・書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的に応じて適切に活用できる技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面に応じて、日常的な話題について、英語で情報や考えなどの概要や要点を的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができている。	英語の背景にある文化に対する理解を深め、主体的に英語を用いてコミュニケーションをとろうとしている。
評価方法	評価の観点・評価規準を踏まえ、ペーパーテスト、パフォーマンステスト(実技テスト)の他、日々の授業態度、言語活動の様子、課題などの提出状況、小テストなどを含め、総合的に評価する。		
学期	学習内容	学習のねらい	
1	<p>【英語の決まりや仕組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・be動詞、一般動詞の現在形と過去形を復習する。 ・助動詞や動名詞を復習する。 <p>【読むこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Lesson 1～ Lesson 2を中心に、日本の風土・食をテーマにした英文を読む。 <p>【書くこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在形を用いて、簡単な英文を書く。 <p>【聞くこと・話すこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・天気について話したり、聞いたりする。 	<p>基礎・基本的な英語の決まりや仕組みの学習(1年次の復習)を行いながら、平易な英語で書かれた英文を読む力を身に付ける。また、現在形を使って自分の日常生活や習慣について短い英文を書けるようになる。</p>	
2	<p>【英語の決まりや仕組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不定詞、受動態を復習し、第4文型と第5文型を学習する。 <p>【読むこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Lesson 3～ Lesson 4を中心に、高校生活、日本文化をテーマにした英文を読む。 <p>【書くこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・過去形を用いて、簡単な英文を書く。 <p>【聞くこと、話すこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・飲食店で注文する際に必要な表現を聞いたり、それを使ったりする。 	<p>基礎・基本的な英語の決まりや仕組みの学習(1年次の復習)を行いながら、平易な英語で書かれた英文を読む力を身に付ける。また、過去の表現を使って過去の出来事について相手に書いて伝えられるようになる。また、飲食店でのやりとりを聞いたり、そこで必要な表現を使うことで、実践的な英語力を身に付ける。</p>	
3	<p>【英語の決まりや仕組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・形式主語と形式目的語、使役動詞と知覚動詞を学習する。 <p>【読むこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Lesson 5～ Lesson 6を中心に、平和について考える題材をテーマにした英文を読む。 <p>【書くこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・過去形を用いて、自分の行動を英語で書く。 <p>【聞くこと・話すこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・買い物で必要な表現を聞いたり使ったりする。 	<p>1・2学期の学習内容より複雑な英語の決まりや仕組みの学習を行いながら、長めでやや複雑な英文を読む力を身に付ける。また、過去形を使って英文を書く力も身に付ける。聞くこと・話すことに関しては、買い物でのやりとりを聞き、実際に使うことで、実践的で実用的な表現力を身に付ける。</p>	
学習上の留意点	<p>①最初の授業で提示される「授業ルール」を守ること。 ②言語活動(聞く、読む、話す、書く)に意欲的に取り組むこと。 ③授業で配布されるプリントはファイルに綴じて、しっかりと管理すること。</p>		

科目の年間授業計画(シラバス)

教科・科目等	外国語:論理・表現 I (選択)	単位数 2 単位	履修年次 2・3 年次
目標	英語の特徴や決まりへの理解を深め、特に聞くこと・読むこと・書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、その知識を目的や場面に応じて、適切に活用できる技能を身に付ける。また、主体的に英語で表現をしたり、情報や考えを伝え合ったりする姿勢を身に付ける。		
使用教材	教科書「数研出版 BIG DIPPER English Logic and Expression I」 副教材「数研出版 BIG DIPPER English Logic and Expression I ワークブック」 副教材「東京書籍 フェイバリット英単語・熟語〈テーマ別〉コーパス1800 3rd Edition」 副教材「東京書籍 コーパス1800 3rd Edition チャンクマスターWORKBOOK(1)」 副教材「東京書籍 コーパス1800 3rd Edition チャンクマスターWORKBOOK(2)」		
評価の観点・評価規準	(知識・技能)	(思考・判断・表現)	(主体的に学習に取り組む態度)
	英語の特徴や決まりへの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと・話すこと・書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的に応じて適切に活用できる技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面に応じて、日常的な話題について、英語で情報や考えなどの概要や要点を的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができている。	英語の背景にある文化に対する理解を深め、主体的に英語を用いてコミュニケーションをとろうとしている。
評価方法	評価の観点・評価規準を踏まえ、ペーパーテスト、パフォーマンステスト(実技テスト)の他、日々の授業態度、言語活動の様子、課題などの提出状況、小テストなどを含め、総合的に評価する。		
学期	学習内容	学習のねらい	
1	<ul style="list-style-type: none"> 英語の基礎的な仕組みを復習する。(Lesson 1~3) 時を表す表現を学ぶ。(Lesson 4~7) 適切な時制表現を使って、自分自身や自分の身近なものについて英語で書いたり話したりしてクラスメイトに伝えたり、それに関するクラスメイトの発表を聞いたりする。 	基礎・基本的な英語の決まりや仕組みを復習した上で、正しい時制表現を使って、自分自身や家族、友人といった身近なことについて、英語で書いたり話したりする力を身に付ける。また、それらについて、クラスメイトが英語で発表することを聞いて理解する力を身に付ける。	
2	<ul style="list-style-type: none"> 助動詞の使い方を学ぶ。(Lesson 8~9) 英語特有の動詞の使い方を学ぶ。(Lesson 10~11、15) 不定詞の使い方を学ぶ。(Lesson 12~14) 比較の表現を学ぶ。(Lesson 16~17) 助動詞や不定詞、比較の表現を使い、芸術や有名人、自分の趣味や休暇について英語で書いたり話したりする。また、それに関するクラスメイトの発表を聞いて理解する。 	基礎・基本的な英語の決まりや仕組みを理解した上で、助動詞や不定詞、比較表現といったやや発展的な表現を使って、多岐にわたるテーマについて、英語で書いたり話したりする力を身に付ける。また、それらについて、クラスメイトが英語で発表することを聞いて理解する力を身に付ける。	
3	<ul style="list-style-type: none"> 関係詞の使い方を学ぶ。(Lesson 18~19) 仮定法の使い方を学ぶ。(Lesson 20) 節の役割について学ぶ。(Lesson 21) 関係詞や仮定法などの文のつながりを示す語句を使い、いくつかのテーマについて英語で書いたり話したりする。また、クラスメイトの発表を聞いて質問をしたり感想を伝えたりする。 	基礎・基本的な英語の決まりや仕組みを理解した上で、関係詞や仮定法といった発展的な表現を使って、多岐にわたるテーマについて、英語で書いたり話したりする力を身に付ける。また、それらについて、クラスメイトが英語で発表することを聞いて理解し、質問する力を身に付ける。	
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ①最初の授業で提示される「授業ルール」を守ること。 ②言語活動(聞く、話す、書く)に意欲的に取り組むこと。 ③授業で配布されるプリントはファイルに綴じて、しっかりと管理すること。 		

科目の年間授業計画(シラバス)

教科・科目等	外国語:論理・表現Ⅱ(選択)	単位数 4 単位	履修年次 3 年次
目標	英語の特徴や決まりへの理解を深め、聞くこと・読むこと・書くこと・話すことによる実際のコミュニケーションにおいて、その知識を目的や場面に応じて、適切に活用できる技能を身に付ける。また、主体的に英語で表現したり、情報や考えを伝え合ったりする姿勢を身に付ける。		
使用教材	教科書「数研出版 BIG DIPPER English Logic and Expression Ⅱ」 副教材「数研出版 BIG DIPPER English Logic and Expression Ⅱ ワークブック」 副教材「東京書籍 フェイバリット英単語・熟語〈テーマ別〉コーパス1800 3rd Edition」 副教材「東京書籍 コーパス1800 3rd Edition チャンクマスター-WORKBOOK(1)」 副教材「東京書籍 コーパス1800 3rd Edition チャンクマスター-WORKBOOK(2)」		
評価の観点・評価規準	(知識・技能)	(思考・判断・表現)	(主体的に学習に取り組む態度)
	英語の特徴や決まりへの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと・話すこと・書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的に応じて適切に活用できる技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面に応じて、日常的な話題について、英語で情報や考えなどの概要や要点を的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができている。	英語の背景にある文化に対する理解を深め、主体的に英語を用いてコミュニケーションをとうとしている。
評価方法	評価の観点・評価規準を踏まえ、ペーパーテスト、パフォーマンステスト(実技テスト)の他、日々の授業態度、言語活動の様子、課題などの提出状況、小テストなどを含め、総合的に評価する。		
学期	学習内容	学習のねらい	
1	<ul style="list-style-type: none"> 英語での表現に必要な基礎的な知識を、実際のコミュニケーションの場で運用する方法を学ぶ。(Lesson 1~Lesson9) 適切な表現を使って英語で書いたり、発表したりすることで、自分自身や自分の身近な物についてクラスメイトに伝える。 	基礎・基本的な英語の決まりや仕組みを復習した上で、正しい表現を使って、自分自身や家族、友人といった身近なことについて、英語で書いたり発表したりする力を身に付ける。また、それらについて、クラスメイトが英語で発表することを聞いて理解する力を身に付ける。	
2	<ul style="list-style-type: none"> 英語での表現に必要なやや発展的な知識を、実際のコミュニケーションの場で運用する方法を学ぶ。(Lesson10~Lesson16) 今までに学習した文法や表現を用いて、いくつかのテーマについて英語で筋道立てて書いたり、話したりする。(PART 2 Lesson1~Lesson 5) 	基礎・基本的な英語の決まりや仕組みを理解した上で、やや発展的な表現を使って、身近なことについて英語で書いたり話したりする力を身に付ける。また、今まで学習した文法や表現を用いて、テーマや場面に応じて論理的に書いたり話したりする力を身に付ける。	
3	<ul style="list-style-type: none"> 今までに学習した文法や表現を用いて、いくつかのテーマについて英語で筋道立てて書いたり、話したりする。(PART 2 Lesson 6~Lesson 12) 	基礎・基本的な英語の決まりや仕組みを理解した上で、やや発展的な表現を使って、身近なことについて英語で書いたり話したりする力を身に付ける。また、今まで学習した文法や表現を用いて、テーマや場面に応じて論理的に書いたり話したりする力を身に付ける。	
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ①最初の授業で提示される「授業ルール」を守ること。 ②言語活動(聞く、話す、書く)に意欲的に取り組むこと。 ③授業で配布されるプリントはファイルに綴じて、しっかりと管理すること。 		

科目の年間授業計画(シラバス)

教科・科目等	外国語:英会話(選択)	単位数2単位	履修年次 3 年次
目標	日常的な会話で使われる英語を聞いて理解するとともに、場面や目的に応じて答える。関心のあることについて基本的な質疑応答をする。自分の意見や経験を表現する。また、海外生活における日常生活や文化に触れることで、国際理解を深め国際感覚を養うとともに、英語を使って積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成する。		
使用教材			
評価の観点・評価規準	(知識・技能)	(思考・判断・表現)	(主体的に学習に取り組む態度)
	日常的な会話で用いられる英語の理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くことや話すことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的に応じて適切に活用できる技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面に応じて、日常的な話題について、英語で情報や考えなどの概要や要点を的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができている。	英語の背景にある文化に対する理解を深め、主体的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。
評価方法	評価の観点・評価規準を踏まえ、ペーパーテスト、パフォーマンステスト(実技テスト)の他、日々の授業態度、言語活動の様子、課題などの提出状況、小テストなどを含め、総合的に評価する。		
学期	学習内容	学習のねらい	
1	次の内容について、英語でコミュニケーションがとれるように学習する。 ・紹介、職業質問 ・依頼 ・時間質問 ・行先質問 ・所要時間 ・希望伝達 ・提案	自己紹介、相手について知る、海外に出かけることに関連する場面(ホテル、郵便局、観光)での英語について聞いたり、読んだり、話したり、書いたりすることができるようになる。特に、会話表現を聞いて理解し、コミュニケーション活動を行うことで、これらの表現を使った会話ができるようになる。	
2	次の内容について、英語でコミュニケーションがとれるように学習する。 ・注文 ・料金質問 ・サイズ質問 ・試着許可 ・場所質問 ・忠告 ・様子伺い ・言い換え	1学期の内容からさらに発展して、より内容の深い英語を聞いたり、読んだり、話したり、書いたりできるようになる。具体的には、ファーストフード店で注文する、買い物をする、駅で行き方をたずねる、病院で診察を受ける、薬局で薬を買う場面を想定している。これらの場面での会話表現を聞いて理解し、これらの表現を使った会話ができるようコミュニケーション能力を身に付ける。	
3	次の内容について、英語でコミュニケーションがとれるように学習する。 ・勧誘 ・念押し ・意見伝達 ・理由質問	1~2学期の内容からさらに発展した会話表現力を身に付ける。例えば、友達に予定をたずねる、パーティーを企画する、空港でチェックインするといった場面での会話ができるようになる。	
学習上の留意点	英語学習に意欲的で、言語活動に積極的に参加することができる人のための授業である。年度当初に提示される授業のルールを必ず守ること。課題や活動、発表に意欲的に取り組むこと。特に、言語活動への意欲的で積極的な参加態度を重視する。		